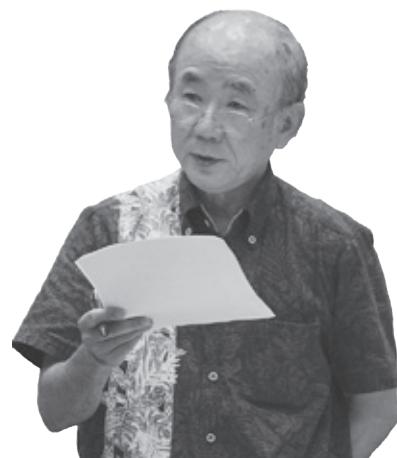


「安保3文書」の認識に変わりはないか

答 認識に変わりはない



當眞 嗣春 議員

- 問** 町長の外交努力の構想・施策を問う。
- 町長** 國際社会との積極的な対話を通じて、問題解決や相互の理解を図ることが重要だと考えている。
- 問** 本町はカナダ・アルバータ州のレスブリッジ市と姉妹都市を結び、あらゆる面での交流を通じて相互理解と信頼

- 問** 「沖縄や日本周辺を取り巻く環境」を町長はどのように認識しているか。
- 町長** 北朝鮮による核・ミサイル開発の継続や挑発行為、中国の軍事力強化や海空域における活動の活発化など、厳しさを増しているとの認識である。

- 問** 去る3月議会で「安保3文書」は「國の安全保障に関する重要な文書」との認識に変わりはないか。
- 町長** 安保3文書に関する認識に変わりはない。

の構築を図っている。この経験を活かし、中国と姉妹都市を結んで戦争させない積極的な平和外交の努力を行うべきではないか。

町長 レスブリッジ市と友好都市を結び今年で20周年となる。これまであらゆる面での交流を通じて信頼関係を築いてきた。今後も、更なる絆を深めるために交流を行う。現時点では新たな都市との姉妹都市締結は考えてはいない。

副町長 多頭飼育問題については、県が条例整備に取り組んでおり、その内容について調査研究をしていく。

本町の動物行政を問う



- 問** 「核兵器のない世界とう究極の目標」を永遠に先送りし、「核兵器は、防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止」とした広島ビジョンについての見解を問う。
- 町長** ビジョンの中で核の軍縮や不拡散を目指す姿勢は、一定の評価ができる。
- ・町道86号線の進捗状況について伺う
- ――こんな質問もしました